



Press Release

REF, NO, JOC-NEWS-26-081
Media Advisory
東京運動記者クラブ
JOC 記者会・JSPO 記者クラブ
(一社) 日本雑誌協会
JPC 登録メディア
同時発表

2026 年 10 月 6 日

「アスリートによる学校訪問・走り方教室」について

公益財団法人日本オリンピック委員会
公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会

標記の件につきまして、別紙のとおりご案内いたします。
詳細は添付資料をご確認ください。

以上

《JOC に関する問合せ先》

公益財団法人日本オリンピック委員会 広報部 担当：吉田・小淵・池原・中尾

Tel : 03-6910-5954 Mail : pressoffice@joc.or.jp web : www.joc.or.jp

《JPC に関する問合せ先》

公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会

企画広報部 担当：黒田・秋葉・堀添

Mail: jpcjpsa-media@parasports.or.jp web : <https://www.parasports.or.jp/paralympic/>



東京2020大会のレガシーを次世代につなぐ新たな取組 都内5校の小学校でトップアスリートと交流 専門講師による走り方教室も同時開催



東京都、JOC及びJPCは、2026年が東京2020大会から「5周年」の節目にあたることを踏まえ、大会のレガシーを発展させ、スポーツの力で社会課題の解決に貢献するため、相互に連携・協力した取組を行っています。

このたび、今年度の新たな取組として、オリンピック・パラリンピアンなどのトップアスリート等が都内小学校5校を訪問し、競技のデモンストレーションや児童との交流、実技指導等を行います。

一流のアスリートや指導者と接する「本物の体験」の交流を通じて、子供たちがスポーツの楽しさを実感し、運動能力の向上につながる機会を創出していきます。

記

【実施内容】

- 1 日程 令和8年10月～令和8年12月
- 2 主催 東京都、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、
公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会（JPC）
- 3 場所 都内公立小学校5校（港区、世田谷区、江戸川区、府中市、瑞穂町）
- 4 出演者 オリンピアン・パラリンピアン等
（柔道、パラテコンドー、バドミントン、フェンシング、ブレイキン）
- 5 内容
 - 1部 アスリートによる競技デモンストレーション、
全校児童による「本気の応援」及び交流
（全校児童がアスリートへ声援を送り、応援する楽しさや会場の一体感を体感するとともに、スポーツを支える大切さを学ぶ取組です。）
 - 2部 指導者資格を有する講師による走り方教室（特定の1学年を対象）
（東京2025世界陸上の開催を契機に作成したスポーツドリルを活用した教室です。）

—「走って・跳んで・投げて」陸上競技— 楽しくチャレンジ！スポーツドリル
陸上競技種目の解説のほか、あらゆるスポーツの基礎となる「走る・跳ぶ・投げる」の運動について、子供たちが楽しみながら上達するトレーニングメニューを紹介
https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/suru/hajimeru_sports_drill.html

【取材について】

○ 11 月 30 日（月曜日）に江戸川区の小学校で実施する回を、取材可能とする予定です。詳細は、11 月中旬頃に別途ご案内いたします。

本件は、「[2050東京戦略](#)」を推進する取組です。
戦略 16 スポーツ「スポーツでにぎわう・スポーツを支える」



▲2050 東京戦略

2050東京戦略
～東京 もっとよくなる～

【問合せ先】

スポーツ推進本部スポーツ総合推進部プロジェクト推進課
電話：03-5618-4259

あらため
新目・伊藤

